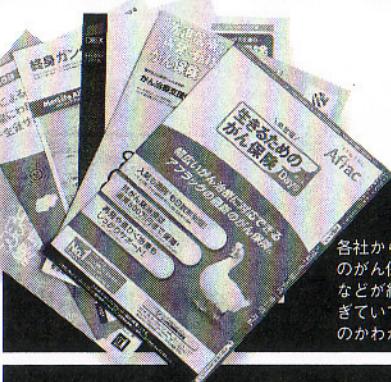




がんの発症リスクの増
加は、福島県民に限っ
たことではない。低線
量被曝の危険は、日本
の広範囲に及んでいる



がん保険

各社から出ている数々
のがん保険。保障内容
などが細かく分かれ
ていて、どれが良い
のかわからない……

徹底研究 がん患者急増へ 被曝で 損か得か

馬券と同じ「賭け」

「生命保険会社に勤める知
人が、「最近、がん保険の
CMがなくなつたと思わ
ん?」と。理由を訊いたら、
外資系には共通の資料が回
つて来て、原発事故後のガ
ンの発症率が上がつたので
売り止めがかかつてると」
こんな話をご存知だろ
うか? これは、お笑いタレ
ントのはっしやん。がツイ
ッターで発言したもの。ネ
ット上で議論が沸騰し、「保
険料が上がるそうだ」など
と、噂が飛び交つてゐる。

保険会社に確かめると、
「弊社ではがん保険を回
す。保険料の見直しは検討
していません」(メットラ
イファリコ)という回答の
ほか、アクサ生命、東京海
上日動あんしん生命も、全
社売り止めと保険料引き上
げについては否定した。

が、原発事故以降、がん
保険が注目されているのは
事実だ。被曝により発がん
リスクが高まる可能性が指
摘され、今のうちに保険に
入つておいたほうがいいと
考える人は増えている。本
誌も繰り返し報道してきた
が、実際、チエルノブイリ
の事故の際、放射性セシウ
ムに汚染された地域ではが
ん発症率が11%増えた。ス
リーマイル島の事故でも、
肺がんと白血病になる人が
増えたなどの研究結果が報
告されている。福島第一原
発事故の影響によるがん発
症が心配になるのは当然だ。

では実際、がん保険に入
った方がいいのか。入ると
得をするのか、損をするの
か、検証していくこ。

がん保険は、がんと診断
されたときの「診断給付金」
に加えて、「手術給付金」や
「入院給付金」が支払われる保険が一番

良さそうだが、「がん保険を
疑え!」の著書もある。保険
コンサルタントの後田亨
氏が、保険商品が細分化さ
れている業界の事情を語る。

「保険会社が新しい商品を
どんどん売り出すのは、そ
の方が売りやすいからで
す。新しいがん保険は、最近

の医療の傾向を踏まえてい
るようにも見えます。しかし
、消費者にとってはがん

になつたときにまとまつた
おカネをくれる保険が一番
いいわけで、おカネの使い
方に別に保険金の種類が分か
れる必要はまったくない」

一見、保障が多いほうが
良さそうだが、「がん保険を
疑え!」の著書もある。保険
コンサルタントの後田亨
氏が、保険商品が細分化さ
れている業界の事情を語る。

「保険会社が新しい商品を
どんどん売り出すのは、そ
の方が売りやすいからで
す。新しいがん保険は、最近

の医療の傾向を踏まえてい
るようにも見えます。しかし
、消費者にとってはがん

になつたときにまとまつた
おカネをくれる保険が一番
いいわけで、おカネの使い
方に別に保険金の種類が分か
れる必要はまったくない」

「見落としがちな落とし穴とは?」

「がんとわかった時点で4
00万円の給付金が出ると
いう保険でした。ところが、
父親のがんは上皮内がん
で、保障の対象外と言わ
たのです。父親は「契約の
時に説明を受けなかつた」
と言つたのですが、結局ダメ
でした。10年以上がん保険
に加入しながら、1円も支
払われなかつたんです」

かつたAさんが言う。
「2人に1人ががんになる
と言われていますが、高齢
化と検査の精度が高まつた
ことが、がん患者が増えて
いる理由です。それも早期
がんの患者が増えている。
たとえば前立腺がんの場
合、今から15年前には、血
液検査でがんのリスクを調
べられるPSA検査もなか
つた。今ではこの検査によ
つて、とても細かいがんま
まに比較できないために、
至るところに「落とし穴」
がある。父親ががんになつ
た際、給付金が支払われな
く考へて選ばねば損をする。

実際に、がん保険は商品
が細分化し、保障内容が簡
単に比較できないために、
至るところに「落とし穴」
がある。父親ががんになつ
た際、給付金が支払われな
くなる。何が必要かをよ
く考へて選ばねば損をする。

飯田橋中村クリニックの
中村剛院長が言う。
「2人にはがんになる
細胞が上皮内にとどまつて
いて転移も浸潤もしていな
い状態で、簡単に言うとご
く早期のがんのこと。この
場合、商品によつては、診
断給付金が出なかつたり、
2分の1や10分の1に減額
になるものがある。理由は、
検査技術の進歩で、ごく初
期のがんが発見されるよう
になつたからだ。

入院保障は意味がない

まうということである。

さて、がん保険に入ると
きにまず着目するのは、診
断給付金と入院給付金だろ
う。診断給付金は、前述の
上皮内がんの問題があるが、
入院給付金にも落とし穴が
ある。各社とも、「入院1
日〇万円」とうたい、派手
な宣伝を繰り広げている。
それを読むと、入院が長く
なるほど得をしそうである。
が、最近は、入院期間が短
くなつてゐるのだ。

東京共済病院乳癌科部長
の馬場紀行医師が言う。
「がん手術後、通院で治療
するケースが非常に多くな